

SOUNDTOUCH[®] 300 SOUNDBAR



安全およびセキュリティ上の留意項目および使用方法をよく読み、それに 従ってください。

安全上の留意項目

- 1. 本書をよくお読みください。
- 2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
- 3. すべての注意と警告に留意してください。
- 4. すべての指示に従ってください。
- 5. この製品を水の近くで使用しないでください。
- 6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
- 7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
- ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くに は設置しないでください。
- 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグや テーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
- 10.必ず指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。
- 11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- 12.修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの 損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や 湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグ を抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性がある ことをお客様に注意喚起するものです。

この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目 が記載されていることを注意喚起するものです。



この製品には強化ガラスが使用されています。取り扱う際には衝撃を与えないようにご 注意ください。破損した場合は、割れたガラスで怪我をしないように注意して処理して ください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響に のいては、医師にご相談ください。

- ・火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの 液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- ・火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の 上や近くに置かないでください。
- ・許可なく製品を改造しないでください。
- インバータ電源は使用しないでください。
- ・車内や船上などで使用しないでください。
- 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラ グを接続してください。

標高2000mを超える高地での使用には適していません。

- WB-300 wall bracket は SoundTouch[®] 300 soundbar 専用です。
- 本製品専用のブラケットのみを使用してください。
- ・壁面の強度が十分でない場合や、壁の裏側に電線や配管などがある場合は、ブラケットを使 用しないでください。ブラケットの取り付け方法がわからない場合は、専門業者に作業を依 頼してください。壁掛けブラケットを取り付ける際は、建築関連法規に従ってください。
- ・空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置 かないでください。
- ・暖炉、ラジエーター、暖房送風口、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くにブラケッ トを取り付けたり、本製品を設置しないでください。
- 製品ラベルはサウンドバーの背面にあります。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定 の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置し た際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エ ネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示通りに設置および使用されな い場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条 件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフにより ラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはい くつかの方法で対処を試みることをお勧めします。

・受信アンテナの向きや位置を変える。

- ・本機と受信機の距離を離す。
- ・受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- ・販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を 使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダイノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります:(1)本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2)本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダイノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた 電磁波放出制限に準拠しています。本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置 して動作させる必要があります。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッ ターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

5150 ~ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャネルの移動体衛星システムへの有害な干 渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

W52/W53屋内専用

低電力無線デバイスの管理規制

第12条

「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、 承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性およ び性能を改変したりすることはできません。

第14条

低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすること はできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しな ければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味 します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応で きなければなりません。 CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の 必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書 については、<u>www.Bose.com/compliance</u>を参照してください。

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/EC に従い、以下の基 準または文書に準拠しています: Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版 Regulation (EU) No. 801/2013

重力状能に関する必須桂起	電力モード				
电刀机滚阵两头勾轮没情報	スタンバイ	ネットワーク待機			
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	≤ 0.5W	すべてのネットワークタイ プ≤2.0 W			
機器が自動的にモードに切り替わるまでの 時間	< 2.5時間	≤20分			
すべての有線ネットワークボートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合の、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	該当なし	≤ 2.0W			
ネットワークポートの有効化/無効化手順。 すべてのネットワークを無効にすると、ス タンバイモードが有効になります。	Wi-Fi*: 無効化するには、リモ: してから、サウンドバーのLE しします。Wi-Fiを有効化する Bluetooth*: 無効化するには、 10秒間長押しするか、SoundTo ングリストを消去します。有 ス機器とペアリングします。 Ethernet: 無効化するには、E 有効化するには、Ethernetケー	コンのSoundTouchアイコンを押 Dが点滅するまで「0」を長押 には、もう一度長押しします。 リモコンのBluetoothボタンを uchアプリケーションでペアリ j効化するには、Bluetoothソー thernetケーブルを外します。 ブルを差し込みます。			

ヨーロッパ向け:

運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz

Bluetooth/Wi-Fi: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

Bluetooth Low Energy: 最大電力スペクトル密度 10 dBm/MHz EIRP 未満

運用周波数帯: 5150 ~ 5350 MHz および 5470 ~ 5725 MHz:

Wi-Fi: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

このデバイスを5150~5350 MHzの周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべてのEU 加盟国で屋内使用に限定されています。

BE	DK	IE	UK	FR	CY	SK	HU	AT	SE
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL	
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI	



使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。 焼却しな いでください。



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、
 人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

中国における有害物質の使用制限表

	D名称および含有量	3					
		有毒/有害物質および成分					
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	
PCB	Х	0	0	0	0	0	
金属パーツ	Х	0	0	0	0	0	
プラスチックパーツ	0	0	0	0	0	0	
スピーカー	Х	0	0	0	0	0	
ケーブル	Х	0	0	0	0	0	
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。							
0: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/ 害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。						157	
X: このパーツに使用さ 有害物質が、GB/T 26	ち 72の	いる1和 制限要	重類以上の均 件を上回っ)質物質に含ま ていることを	まれている当該有毒/ ·示します。		

台湾における有害物質の使用制限表

機器名: Bose [®] SoundTouch [®] 300 soundbar、型式名: 421650							
ユニット名	鉛 (Pb)	→ 水銀 カドミウム 六価クロム ポリ臭化ビフェニル ポリ臭化ジフェニルエーテル ((Hg) (Cd) (Cr+6) (PBB) (PBDE)					
PCB	-	0	0	0	0	0	
金属パーツ	-	0	0	0	0	0	
プラスチックパーツ	0	0	0	0	0	0	
スピーカー	-	0	0	0	0	0	
ケーブル	-	0	0	0	0	0	
注1:「〇」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。							
注2: 「一」は、制限される物質が免除に該当することを示します。							

製造日:シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「8」は2008年または2018年です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plant 9, No. 353 North Riying Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

EUにおける輸入元: Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan Phone Number: +886-2-2514 7676

メキシコにおける輸入元: Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F.Phone Number: +5255 (5202) 3545

セキュリティ情報

この製品は、Boseから自動セキュリティアップデートを受信することができます。 自動セキュリティアップデートを受信するには、SoundTouch®アプリで製品のセットアップを完了し、製品をインターネットに接続する必要があります。セットアップを完了しない場合は、Boseが公開するセキュリティアップデートをお客様ご自身でインストールする必要があります。

ライセンス開示情報

サウンドバーに搭載されているサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンス開示情報は、SoundTouch®アプリまたは製品のIPアドレスを使用して表示できます。

SoundTouch®アプリ

- 1. アプリで =>[設定]>[システム情報]>[法的事項]の順に選択します。
- 2. 該当するライセンスタイプを選択します。

IPアドレス

- 1. 次のいずれかの方法で、製品のIPアドレスを確認します。
 - SoundTouch*アプリ:アプリで =>[設定]>[システム情報]の順に選択します。お使いのサウンドバーを選択して、IPアドレスを確認します。
 - ・ワイヤレスルーター:詳細については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 2. ワイヤレスネットワークに接続されているデバイスで、ブラウザーを開きます。
- 3. アドレスバーに「<IPアドレス>/licenses.pdf」と入力して開くと、該当するライセンス開示 情報とエンドユーザー使用許諾契約書(EULA)が表示されます。

Amazon、Kindle、Fireおよびそれらに関連するすべてのロゴは、Amazon, Inc.またはその関連会社の 商標です。

Appleおよび Appleのロゴは Apple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App Storeは Apple Inc.のサービスマークです。

Android、Google Play、およびGoogle PlayのロゴはGoogle LLC.の商標です。

*Bluetooth**のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

I DOLBY AUDIO[™] Dolby、Dolby Audio、およびダブルDマークはDolby Laboratoriesの商標です。



DTSの特許については、<u>http://patents.dts.com</u>をご覧ください。この製品はDTS, Inc.の ライセンスに基づいて製造されています。DTS、シンボルマーク、DTSとシンボ ルマークの複合ロゴ、およびDTS Digital Surroundは、DTS, Inc.の米国または他の国々 もしくはその両方における登録商標または商標です。©DTS, Inc. All Rights Reserved.

HDTNI^{*} HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIのロゴはHDMI Licensing Administrator, Inc.の米国および他の国々における商標または登録商標です。

この製品はiHeartRadioサービスに対応しています。iHeartRadioはiHeartMedia, Inc.の登録商標です。

この製品はMicrosoftの特定の知的財産権によって保護されています。Microsoftから使用許諾を受けずに、保護対象の技術をこの製品以外で使用または配布することは禁じられています。

N-Markは米国およびその他の国における NFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。

SoundTouchおよび音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの登録商標です。

この製品にはSpotifyソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパー ティのライセンスが適用されます。<u>www.spotify.com/connect/third-party-licenses</u>

SpotifyはSpotify ABの登録商標です。

この製品は、Universal Electronics, Inc.のライセンスに基づき、UEI Technology"を使用して設計されて います。© UEI 2000-2016

Wi-FiはWi-Fi Alliance の登録商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2019 Bose Corporation.本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、 その他の使用は許可されません。 目次

はじめに

エンターテイメントシステムの構築	11
内容物の確認	11
設置ガイド	12
サウンドバーを壁に取り付ける	13

サウンドバーのセットアップ

ケーブルを選択する	14
サウンドバーをテレビに接続する	15
オプション1: HDMI™ ARC接続(推奨)	15
オプション2: 光デジタル接続	16
電源に接続する	17
リモコンに電池を装着する	17
サウンドバーの電源をオンにする	18
自動オフタイマー	18
サウンドバーとベースモジュールやサラウンドスピーカーをペアリングする	
(オプション)	19

サウンドバーのセットアップを完了する

テレビの内蔵スピーカーをオフにする	21
音が出ることを確認する	21
ADAPTiQ®自動音場補正について	22
ADAPTiQ®自動音場補正を実行する	22

ユニバーサルリモコンの設定

ユニバーサルリモコンのボタン	24
ユニバーサルリモコンをプログラムする	25
電源ボタンをカスタマイズする	26
接続機器とテレビを同期し直す	26
他社製リモコンをプログラムする	26

SoundTouch®のセットアップ

SoundTouch®アプリをダウンロードしてインストールする	27
SoundTouch®オーナーサポートセンター	28
サウンドバーを既存のアカウントに追加する	28
サウンドバーを新しいネットワークに接続する	28

SoundTouch®アプリを使用する

プリセットを設定する	29
プリセットを再生する	30

サウンドバーを使用する

接続機器の選択	31
音量の調節	31
低音を調節する	32
低音の設定を元に戻す	32
機能ボタン	33
ダイアログモード	33
ダイアログモードを固定する	33
自動ウェイク機能	33

Bluetooth®接続

ペアリング方法を選択する	34
モバイル機器をペアリングする	35
NFCによるモバイル機器のペアリング	36
ペアリングした機器に接続する	37
ペアリング済み機器の音楽をストリーミング再生できない場合	37
モバイル機器の接続を解除する	37
モバイル機器を再接続する	38
サウンドバーのペアリングリストを消去する	38

目次

動作状態の確認

システムステータスインジケーター	39
Wi-Fi®インジケーター	39
TV インジケーター	40
SoundTouch®インジケーター	40
Bluetoothインジケーター	41
接続インジケーター	41
Wi-Fi インジケーターおよび接続インジケーター	41

高度な機能

システムソフトウェアの更新	42
Wi-Fi機能を無効にする	43
Wi-Fi 機能を再度有効にする	43
サウンドバーをリセットする	44

別のセットアップ方法

別のセットアップ方法	45
外部機器をサウンドバーに接続する	45
サウンドバーに接続した機器の音声を直接再生する	46
パソコンを使用してサウンドバーをセットアップする	47

補足事項

お手入れについて	48
お問い合わせ先	48
保証	48
仕様	48

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら	49
ADAPTiQ®自動音場補正のエラーメッセージ	53

エンターテイメントシステムの構築

SoundTouch® 300 soundbarはホームエンターテイメントシステム用機器で、オプ ションのAcoustimass® 300 wireless bass moduleおよび Virtually Invisible® 300 wireless surround speakers (別売)に対応しています。2台までのベースモジュールとサラウ ンドスピーカーをサウンドバーにワイヤレス接続して、より豊かで臨場感あふれる サウンドをお楽しみいただけます。

ベースモジュールとサラウンドスピーカーは、お近くのボーズ製品取扱店、または 弊社Webサイトでお求めいただけます。

注: サウンドバーはAcoustimass wireless bass moduleにも対応しています。このベー スモジュールはSoundTouch[®] soundbar systemの一部としてのみ提供され、一部 の地域では使用できない場合があります。

内容物の確認

箱の中身を取り出して、下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してくだ さい。



SoundTouch® 300 soundbar



ユニバーサルリモコン

● ● 単4乾電池(2個)



ADAPTiQ®用ヘッドセット 電源コード*



HDMI™ケーブル



光ケーブル

- *電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものを お使いください。
- **注**: 万一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態 を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

はじめに

設置ガイド

ワイヤレス信号の干渉を回避するには、ほかのワイヤレス機器から30~90 cmほど離れた場所に設置します。システムは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。

- サウンドバーは、スピーカーグリルを部屋の中央に向けた状態で、テレビの真下 (推奨)または真上に配置します。
- サウンドバーは、ゴムベース面を下にして安定した水平な面に設置してください。
 正しく設置するには、両側の足が台の上にしっかりと載っている必要があります。
 特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でサウンドバーの位置がずれることがあります。
- サウンドバーの背面を壁や家具などから1 cm以上離してください。背面にある開口部が塞がれると、音響性能が低下する恐れがあります。
- サウンドバーの上には物を置かないでください。
- 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。
- ・最高の音質をお楽しみいただくため、サウンドバーを戸棚の中に設置したり、お 部屋の角に斜めに設置したりしないでください。
- サウンドバーを戸棚や本棚、テレビ台などに置く場合は、最適なオーディオ性能 を得るために、できるだけ棚の前面に近づけてください。



注意: サウンドバーの前面や背面、または天面を下にした状態で使用しないでくだ さい。



サウンドバーを壁に取り付ける

サウンドバーは壁に取り付けることができます。WB-300 wall bracketは、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めいただけます。

注意:純正以外のアクセサリーを使用してサウンドバーを設置しないでください。

ケーブルを選択する

以下の2種類のケーブルからどちらかを選択して、テレビとサウンドバーを接続します。

- オプション1: HDMI[™] ARC 接続(推奨)
- ・オプション2: 光デジタル接続
- **注:** HDMIケーブルを使用して、サウンドバーをテレビのHDMI ARC (Audio Return Channel)端子に接続することをおすすめします。
- テレビの背面にある HDMI IN 端子および Audio OUT (デジタル)端子パネルを探し ます。



お使いのテレビによっては、端子パネルが図と異な る場合があります。端子の形状で確認してください。

- 2. 音声ケーブルを選択します。
- **注:** お持ちのテレビにHDMI ARC端子または光デジタル音声端子が無い場合は、 49ページをご覧ください。

サウンドバーをテレビに接続する

音声ケーブルを選択したら、サウンドバーとテレビを接続します。

オプション1: HDMI[™] ARC接続(推奨)

- 1. HDMI™ケーブルのプラグをテレビのHDMI ARC端子に接続します。
 - 注: HDMI ARC (または Audio Return Channel)端子に接続しないと、サウンドバー からテレビの音声は再生されません。お持ちのテレビにHDMI ARC端子が無 い場合は、「オプション2: 光デジタル接続」(16ページ)をご覧ください。
- 2. ケーブルの反対側を、サウンドバーのHDMI OUT TO TV (ARC)端子に差し込みます。



オプション2:光デジタル接続

お持ちのテレビにHDMI™ ARC端子が無い場合は、光ケーブルを使用してサウンド バーとテレビを接続します。

注意: 光ケーブル両端のプラグから保護キャップが取り外されていることを確認し ます。プラグの向きを間違えて挿し込むと、プラグや端子が破損する恐れが あります。



- 1. 光ケーブルのプラグをテレビのOptical OUT端子に接続します。
- 2. Bose®ロゴのある側を下にして光ケーブルの反対側のプラグを持ちます。
- 3. プラグの向きをサウンドバーのOPTICAL IN端子に合わせて、慎重に差し込みます。



注:端子にはカバーが付いていて、プラグを差し込むとカバーが開きます。

 カチッと言う音が聞こえるか、指先に感触があるまでプラグをしっかり差し込み ます。



電源に接続する

- 1. 電源コードを、サウンドバーの背面にある POWER 端子に接続します。
- 2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。



リモコンに電池を装着する

- 1. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして開きます。
- 2. 付属の単四形アルカリ乾電池2本を入れます。電池ケースに表示されている+と ーの向きと、乾電池の+とーの向きを正しく合わせてください。
- 3. 電池カバーをスライドして元に戻します。



サウンドバーの電源をオンにする

リモコンのしボタンを押します。



サウンドバーの電源がオンになります。

注: 初めてサウンドバーの電源をオンにしたとき、ソース機器はテレビ □ に設定 されます。それ以降は最後に使用したソースが表示されます。

自動オフタイマー

サウンドバーが使用されない状態が続くと自動オフタイマーが働き、消費電力を抑 えます。音声信号がないままボタンを20分間操作しないと、サウンドバーが電源オ フになります。

注: 自動オフタイマーを無効にするには、SoundTouch®アプリを使用します。

サウンドバーとベースモジュールやサラウンド スピーカーをペアリングする(オプション)

Acoustimass[®] 300 wireless bass module、Acoustimass wireless bass module (SoundTouch[®] soundbar systemに付属)、またはVirtually Invisible[®] wireless surround speakersをお持ちの場合は、今すぐ、もしくは後ほどこれらをサウンドバーに接続 することができます。

注:

- ・ここで接続しておけば、ADAPTiQ[®]自動音場補正などの手順を繰り返す必要がなく なります。
- ベースモジュールとサラウンドスピーカーのペアリングは個別に行う必要があり ます。
- サウンドバーにはAcoustimass 300 wireless bass modulesを2台までペアリングできます。詳しくは、Acoustimass 300の取扱説明書をご覧ください。
 弊社Webサイト: global.Bose.com/Support/AM300
- Acoustimass wireless bass module は SoundTouch[®] soundbar systemの一部としての み提供され、一部の地域では使用できない場合があります。
- ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーのどちらかを電源に接続します。Acoustimass 300、Virtually Invisible® 300、またはAcoustimass wireless bass moduleの取扱説明書をご覧ください。
- 2. リモコンのSoundTouch®ボタン 字を押します。

サウンドバーのセットアップ

3. サウンドバーの接続インジケーター OP が白に点滅するまで 7 ボタンを長押しします。

ペアリングされると、ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーからビープ 音が聞こえ、サウンドバーの cの インジケーターが白く点灯します。



4. 手順1~3を繰り返して、ベースモジュールとサラウンドスピーカーをすべてペアリングします。

注:

- ペアリングには数分かかる場合があります。
- ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーとサウンドバーをペアリングできない場合は、50ページの「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

テレビの内蔵スピーカーをオフにする

音響パフォーマンスを十分にお楽しみいただくためには、テレビの内蔵スピーカー をオフにしてください。

詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

音が出ることを確認する

- 1. テレビの電源をオンにします。
- 2. CATV/衛星チューナーやその他の外部機器を使用する場合:
 - 接続機器の電源をオンにします。
 - 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。リ モコンで外部機器を操作できるように設定していない場合は、外部機器のリモ コンをお使いください。
- サウンドバーの電源をオンにします。
 接続機器の音がサウンドバーから聞こえます。

4. リモコンの ダ ボタンを押します。

- テレビの内蔵スピーカーとサウンドバーから音が聞こえなくなります。
 - **注:** サウンドバーをミュートしてもテレビのスピーカーから音が聞こえる場合 は、49ページをご覧ください。

ADAPTiQ®自動音場補正について

サウンドバーの設置とベースモジュールやサラウンドスピーカーのペアリングが終わったら、システムの音響性能を最大限に引き出すため、ADAPTiQ®自動音場補正を 実行します。ADAPTiQ自動音場補正は、システムが設置されている部屋の5箇所で 測定を行い、音場を補正します。音場補正を実行するには、お部屋を10分ほど静か な状態に保つ必要があります。

ADAPTiQ自動音場補正は、最適な音場にするために付属のADAPTiQ用ヘッドセット に内蔵されたマイクでお部屋の音響特性を測定します。

ADAPTiQ®自動音場補正を実行する

1. ADAPTiQ用ヘッドセットのケーブルをサウンドバーの背面にあるADAPTiQ端子 に接続します。



- 2. ADAPTiQ用ヘッドセットを頭に装着します。
- 3. リモコンのSoundTouch®ボタン 🖗 を押します。

 サウンドバーのTVインジケーター □ とBluetoothインジケーター ^{\$}が緑に点灯 するまで 8 ボタンを長押しします。



ADAPTiQ®による自動音場補正が始まります。

- 注: 音声ガイドが日本語でない場合は、ナビゲーションパッドの ∧ ボタンまた は ∨ ボタンを押して言語を変更します(24ページを参照)。言語をリセッ トするには、8 ボタンを10秒間長押しします。
- 5. 音声ガイドに従い、ADAPTiQ自動音場補正を完了します。

エラーメッセージが聞こえてADAPTiQによる自動音場補正を完了できない場合 は、「ADAPTiQ®自動音場補正のエラーメッセージ」(53ページ)をご覧ください。

6. ADAPTiQ用ヘッドセットのプラグをサウンドバーから抜き、安全な場所に保管してください。

ベースモジュールやサラウンドスピーカーを後でペアリングした場合や、サウン ドバーまたは家具を移動した場合は、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行して音質 を調整してください。

ユニバーサルリモコンのボタン

リモコンを使用して、テレビやサウンドバーに接続した外部機器の操作、音量と低 音の調節、チャンネルの変更、ダイアログモードの使用、再生機能の操作、CATV/ 衛星チューナーの機能の有効化などを行うことができます。



ユニバーサルリモコンをプログラムする

ユニバーサルリモコンにはプログラム可能なソースボタンが4つあります (□、AUX、□=、昏)。これらのボタンにメーカーの設定コードを登録して、テ レビ、CATV/衛星チューナー、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー、ゲーム機、ビデオデッ キなどの外部機器を操作できます。接続機器のコードは複数ある場合があります。 次の手順を何度か実行して、正しいコードを確認してください。

コードの確認

- 1. 接続機器の電源をオンにします。
- 付属の『Universal Remote Control Setup Guide』(ユニバーサルリモコン設定ガイド)で機器のブランドに対応するコードを確認します。

コードの入力

 6個のソースボタンがすべて点灯するまで、リモコンで目的のソースボタン (□、AUX、□=、6)を長押しして、ボタンを放します。たとえば、テレビ を操作できるようにプログラムする場合は、□ ボタンを長押しして、6つのソー スボタンが点灯したら放します。

該当するソースボタンのみが点灯します。

2. 数字キーパッドを使って、機器のブランドに対応するコードを入力し、 voL ボタ ンを押します。

コードのテスト

- 1. 機器ごとに以下の手順に従い、接続機器の基本機能をテストします。
 - テレビ: チャンネルボタンを押します。MENU ボタンを押します。設定メニュー が表示されます。《ボタンと》ボタンを押して操作します。
 - CATV/衛星チューナー: GUIDE ボタンを押します。番組表が表示されます。
 《ボタンと》ボタンを押して操作します。
 - DVD/Blu-ray Disc[™]プレーヤー: GUIDE ボタンを押します。設定メニューが表示されます。《ボタンと》ボタンを押して操作します。
 - ・ゲーム機:《ボタンと》ボタンを押してメニューを操作します。
- 2. 接続機器の基本機能を操作できるかどうかに応じて、以下の操作を行います。
 - **リモコンで正しく操作できる場合**: EXIT ボタンを押して、設定を保存して終了 します。
 - 接続機器を操作できない場合、またはリモコンが正しく機能しない場合:
 - ソースボタンが点灯する場合: vol ボタンを押して次のコードを試します。
 「コードのテスト」の手順1と2を繰り返します。この手順は30回以上繰り返す必要がある場合もあります。機器のコードをすべて試し終わったら、6つのボタンが3回点滅します。

- ソースボタンが点灯しない場合: リモコンのプログラムモードが解除されています。「コードの入力」の手順1と2、および「コードのテスト」の手順1と2をやり直してください。
- **注:** 一部の機器はユニバーサルリモコンに対応していない場合があります。詳細に ついては、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

電源ボタンをカスタマイズする

リモコンの電源ボタン ()をカスタマイズして、サウンドバー、テレビ、その他の接 続機器の電源を同時にオン/オフすることができます。

- 1. リモコンでテレビと接続機器を操作できるように設定します(25ページを参照)。
- ニ ボタンと該当するソースボタンが3回点滅するまで、両方のボタンを10秒間 長押しします。

接続機器とテレビを同期し直す

電源ボタンをカスタマイズして使用しているときに、接続機器とテレビが同期され ず、電源が同時にオン/オフできなくなる場合があります。次の手順で、システムを もう一度同期してください。

- 1. 同期していない機器のソースボタンを押します。
- 2. ^{source} ボタンを押して、機器の電源をオン/オフします。
- 3. し ボタンを押します。

接続機器の電源が同時にオン/オフされます。

他社製リモコンをプログラムする

CATV/衛星チューナーのリモコンなど、Boseリモコン以外のリモコンをプログラム してサウンドバーを操作できます。手順については、他社製リモコンの取扱説明書 や、CATV/衛星チューナーのWebサイトをご覧ください。

プログラムが完了すると、電源のオン/オフや音量の調節など、基本的な機能を他社 製リモコンで操作できるようになります。

注:他社製リモコンでサウンドバーを操作するには、リモコンがIR (赤外線)信号を 送信できる必要があります。 SoundTouch®アプリは、スマートフォンやタブレット、パソコンなどから SoundTouch®の設定や操作をするためのソフトウェアです。このアプリを使用する と、スマートフォンやタブレットなどがサウンドバーのリモコンとして機能します。

このアプリからSoundTouch®の設定、音楽サービスの追加、世界中のインターネットラジオ局の選局、プリセットの設定と変更、音楽のストリーミング再生などが行 えます。新しい機能も随時追加されます。

注: 既に別のスピーカーでSoundTouch®をセットアップしてある場合は、「サウンド バーを既存のアカウントに追加する」(28ページ)をご覧ください。

SoundTouch®アプリをダウンロードしてイン ストールする

スマートフォンやタブレットにBose® SoundTouch®アプリをダウンロードします。



SoundTouch®アプリ

- Apple 製品ユーザーの場合: App Store からダウンロードします。
- ・ Android™ユーザーの場合: Google Play™ストアからダウンロードします。
- Amazon Kindle Fire ユーザーの場合: Amazon Android アプリストアからダウンロー ドします。



アプリに表示される手順に従い、Wi-Fiネットワークへのサウンドバーの追加、 SoundTouch®アカウントの作成、音楽ライブラリや音楽サービスの追加などのセッ トアップを完了します。

サウンドバーをホームWi-Fiネットワークに接続すると、同じネットワーク上にある スマートフォンやタブレットなどから操作できます。

注: パソコンを使用してセットアップする手順は、47ページをご覧ください。

ヒント: SoundTouch®アプリをスマートフォンやタブレットなどにダウンロードし ます。サウンドバーに接続するすべてのデバイスで同じSoundTouch®アカ ウントを使用する必要があります。

SoundTouch[®]オーナーサポートセンター

(?) global.Bose.com/Support/ST300

オーナーサポートセンター Webサイトにアクセスできます。このサイトには、取扱 説明書や製品に関する記事、ヒント、チュートリアル、ビデオライブラリなどが用 意されており、オーナー同士で質問を投稿したり回答したりできるコミュニティ(英 語のみ)があります。

サウンドバーを既存のアカウントに追加する

既に別のスピーカーでSoundTouch®をセットアップしてある場合は、SoundTouch® アプリを再度ダウンロードする必要はありません。

アプリで == > [設定] > [スピーカーの追加または再接続]の順に選択します。

セットアップの手順はアプリに表示されます。

サウンドバーを新しいネットワークに接続する

ネットワークの設定情報を変更した場合は、新しいネットワークにサウンドバーを 追加します。追加するには、サウンドバーをセットアップモードに切り替えます。

- アプリで ==>[設定]>[スピーカーの設定]の順に選択して、サウンドバーを選択します。
- 2. [スピーカーの接続]を選択します。

セットアップの手順はアプリに表示されます。

6つのプリセットには、お気に入りの音楽ストリーミングサービス、インターネットラジオ放送局、音楽ライブラリのプレイリスト、アーティスト、アルバム、曲などを登録できます。SoundTouch®アプリのボタンをタッチするだけで、音楽をいつでも簡単に再生できます。

プリセットを使用する際は、次の点にご注意ください。

- プリセットは、アプリとリモコンのどちらからでも設定できます。
- ・ 音楽ライブラリをプリセットに登録している場合は、音楽ライブラリを保存しているパソコンの電源がオンになっていて、サウンドバーと同じネットワークに接続されている必要があります。
- ・ Bluetoothのストリーミングをプリセットに設定することはできません。

プリセットを設定する

- 1. アプリを使用してサウンドバーで音楽をストリーミング再生します。
- 2. リモコンのSoundTouch®ボタン 🖗 を押します。
- 音楽を再生しているときに、サウンドバーからビープ音が聞こえるまで、リモコンのプリセット番号ボタン(1~6)を長押しします。



注: SoundTouch®アプリを使用したプリセットの設定や変更方法については、次の サイトをご覧ください。global.Bose.com/Support/ST300

プリセットを再生する

プリセットを設定すると、リモコンのプリセットボタンを押して音楽を再生できます。

- 1. リモコンのSoundTouch®ボタン 🖗 を押します。
- リモコンのプリセットボタン(1~6)を押すと、プリセットに登録されたソース が再生されます。



注: 音楽が再生されず、サウンドバーのSoundTouch®インジケーター ☞ がオレンジ で2回点滅する場合は、「プリセットを設定する」(29ページ)をご覧ください。

接続機器の選択

リモコンを使ってテレビ入力を切り替え、外部機器を切り替えることができます。 ペアリングしたBluetooth対応機器に接続する方法は、37ページをご覧ください。

注:

- 操作を始める前に、接続機器を操作できるようにリモコンを正しく設定している ことを確認します(25ページを参照)。
- ・リモコンの□、AUX、□=、「「」などのボタンを押しても、接続機器を切り替えることはできません。これらのボタンは、サウンドバーの電源をオンにして、選択した接続機器の操作ができるようにリモコンのモードを切り替えるためのものです。
- 1. 操作したい接続機器に対応するボタンを押します。

接続機器ボタンが点灯します。

- Source ボタンを押します。
 接続機器の電源がオンになります。
- 3. 外部機器をテレビに接続している場合は、NPDT ボタンを押して、適切なテレビ入力を選択します。

音量の調節

リモコンで次のように操作します。

- vol ボタンを押すと、音量が上がります。
- **VOL** ボタンを押すと、音量が下がります。
- ・ ダ ボタンを押すと、音声がミュートまたはミュート解除されます。

低音を調節する

SoundTouch®アプリまたはリモコンを使用して、サウンドバーの低音を調節できま す。SoundTouch®アプリの詳細は、27ページをご覧ください。

1. リモコンの BASS ボタンを押します。

現在の低音の設定に応じて、サウンドバーのインジケーターが次のように点灯します。

低音設定	イン	ノジケー	ーター	-の表	示
+4	((t•		F	*	പ
+3	•1))		<u>_</u>	*	⊡
+2	(((•		5	*	ß
+1	((t•		F	*	പ
0(デフォルト)	(((•		j.	*	പ
-1	(((•		(I-	*	പ
-2	(((•		F	*	പ
-3	■ ((t•		5	*	പ്ര
-4	•(((•		<u>(</u>]]	*	ഗ

- 2. リモコンで次のように操作します。
 - vol ボタンを押すと、低音の音量が上がります。
 - VOL ボタンを押すと、低音の音量が下がります。
- 3. BASS ボタンを押します。設定内容がサウンドバーに保存されます。
- **注:** ニュースやトークショーなどの対話やトークのみの番組を最適な音質で楽しむ 方法については、「ダイアログモード」(33ページ)をご覧ください。

低音の設定を元に戻す

サウンドバーのSoundTouch®インジケーター 🖗 が2回点滅するまで、リモコンの BASS ボタンを長押しします。

低音の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

機能ボタン

リモコンの赤、緑、黄、青の各ボタンは、CATV/衛星チューナーや文字多重放送の カラーボタンの機能に対応しています。

- ・CATV/衛星チューナーの機能について:チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- **文字多重放送:** 画面のページ番号、見出し、ショートカットなど、カラーボタンで 操作できる機能に対応しています。(ヨーロッパのみ)

ダイアログモード

ダイアログモードは、映画やテレビ番組、ポッドキャストなどの台詞やボーカルの 明瞭度を向上するように、システムのトーンバランスを調整する機能です。

リモコンのダイアログモードボタン(♀)を押すたびに、ダイアログモードと通常 モードのオーディオ設定が切り替わります。

ダイアログモードが有効になると、選択しているソース機器のステータスインジ ケーターが緑に点灯します(39ページを参照)。

注: サウンドバーの電源をオフにすると、ダイアログモードが無効になります。

ダイアログモードを固定する

サウンドバーの電源をオフにしても、ダイアログモードが無効にならないように設 定することができます。

ダイアログモードを固定または解除するには、選択しているソース機器のステータ スインジケーターが緑に2回点滅するまで、リモコンの ♀ ボタンを長押しします (「システムステータスインジケーター」(39ページ)を参照)。

自動ウェイク機能

音声信号を受信するたびにサウンドバーの電源がオンになるように設定できます。 ほとんどの場合、HDMI[™] ARC端子ではこの機能がデフォルトで有効化されています。 自動ウェイク機能は、光ケーブルを使用してテレビを接続している場合にご利用く ださい。

自動ウェイク機能とデフォルトの電源設定を切り替えるには、サウンドバーから ビープ音が聞こえるまで、リモコンの 也 ボタンを長押しします。ビープ音(低音か ら高音)は自動ウェイク機能が有効を表し、ビープ音(高音から低音)は自動ウェイ ク機能が無効を表します。 Bluetoothワイヤレステクノロジーにより、スマートフォン、タブレット、ノートパ ソコンなどのモバイル機器の音楽をストリーミング再生できます。モバイル機器か ら音楽をストリーミング再生するには、機器とサウンドバーをペアリングしておく 必要があります。

ペアリング方法を選択する

モバイル機器とサウンドバーをペアリングするには、Bluetoothワイヤレステクノロ ジーを利用する方法と、Near Field Communication (NFC)機能を利用する方法があり ます。

NFCについて

NFCは、2台の*Bluetooth*対応機器同士をタッチするだけでワイヤレス通信を確立す る機能です。お使いのモバイル機器がNFCに対応しているかどうかは、機器の取扱 説明書をご覧ください。

お使いのモバイル機器がNFCによる Bluetoothペアリングに対応しているかどう かわからない場合:	「モバイル機器をペアリングする」(35ペー ジ)の説明に従ってください。
お使いのモバイル機器がNFCによる	「NFCによるモバイル機器のペアリング」
Bluetoothペアリングに対応している場合:	(36ページ)の説明に従ってください。

注: お使いの機器がNFCによる*Bluetooth*ペアリングに対応している場合は、どちらの方法でもペアリングできます。

モバイル機器をペアリングする

1. サウンドバーのBluetoothインジケーター ^{\$}が青く点滅するまで、リモコンの Bluetooth[®]ボタン ^{\$}を長押しします。



- モバイル機器のBluetooth機能をオンにします。
 ヒント:通常、Bluetooth機能は「設定」メニューにあります。
- 3. デバイスリストからSoundTouch[®] soundbarを選択します。



ペアリングされると、サウンドバーのインジケーター 🖇 が白く点灯し、サウンドバーからビープ音が聞こえ、デバイスリストに本システムが「接続済み」と表示されます。

NFCによるモバイル機器のペアリング

- サウンドバーの電源をオンにします。モバイル機器のロックを解除して、 Bluetooth機能とNFC機能をオンにします。この機能の詳細については、モバイ ル機器の取扱説明書をご覧ください。
- モバイル機器のNFCタッチポイントをサウンドバー天面のBose®ロゴの上の部分 に当てます。

モバイル機器によっては、ペアリングの同意を求める音声やメッセージが出る場合もあります。



ペアリングされると、サウンドバーの Bluetooth インジケーター が白く点灯 し、サウンドバーからビープ音が聞こえます。

ペアリングした機器に接続する

モバイル機器の音楽をサウンドバーでストリーミング再生できます。

- 注: サウンドバーのペアリングリストに複数のモバイル機器が保存されている場合、 ペアリングした機器と接続するまでに1、2分かかることがあります。接続状況は サウンドバーのBluetoothインジケーターで確認できます(39ページを参照)。
- 1. リモコンのBluetoothボタン ⊀を押します。

サウンドバーは、最後にストリーミング再生していたモバイル機器に接続されます。

2. モバイル機器で音楽を再生します。

ペアリング済み機器の音楽をストリーミング再生できない場合

サウンドバーとモバイル機器の接続が解除されている場合があります。サウンド バーのBluetoothインジケーターを確認してください。ペアリング済み機器がサウン ドバーの通信範囲外にある場合は、通信範囲内まで機器を移動します。

モバイル機器の接続を解除する

- ・ モバイル機器のBluetooth機能をオフにします。
- モバイル機器がNFCに対応している場合は、機器のNFCタッチポイントをサウンドバーの天面にあるBose®ロゴの上の部分に当てます。

モバイル機器を再接続する

- サウンドバーの電源を入れると、最後に接続していたモバイル機器に再接続します。
 注: モバイル機器が通信範囲内にあり、電源がオンになっている必要があります。
- モバイル機器がNFCに対応している場合は、機器のNFCタッチポイントをサウンドバーの天面にあるBose®ロゴの上の部分に当てます。

サウンドバーのペアリングリストを消去する

サウンドバーのペアリングリストには、最大8台までのペアリングしたモバイル機 器を記憶します。

- サウンドバーのBluetoothインジケーター ¥ が白く2回点滅するまで、リモコンのBluetooth®ボタン ¥ を10秒間長押しします。サウンドバーからビープ音が聞こえます。
- 2. モバイル機器のBluetoothリストからSoundTouch® 300 soundbarを削除します。

ペアリング済みのモバイル機器がすべて消去され、サウンドバーに新しいモバイ ル機器をペアリングする準備が完了します。

システムステータスインジケーター

サウンドバーの前面にあるインジケーターには、システムの状態が表示されます。



Wi-Fiインジケーター

システムのWi-Fi接続の状態を示します。

インジケーターの表示	システムの状態
白の点滅	Wi-Fiネットワークに接続中
白の点灯(暗い)	節電モード、Wi-Fiネットワークに接続
白の点灯(明るい)	システムオン、Wi-Fiネットワークに接続
オレンジ	システムはセットアップモード
接続インジケーター の	システムソフトウェアの更新
と同時に白く点滅	注: 更新には10分以上かかる場合があります。

TVインジケーター

テレビと、テレビまたはサウンドバーに接続されているすべての接続機器の接続状況を示します。

インジケーターの表示	システムの状態
白	テレビ、AUX、 三三、 「「のいずれかが接続機器として現在選択されています。
緑の点灯	テレビ、AUX、 三三、 「「のいずれかが接続機器として現在選択されており、ダイアログモードが有効です。
緑の2回点滅	テレビ、AUX、

SoundTouch®インジケーター

インジケーターの表示	システムの状態
白の点滅	SoundTouch®ソースに接続中
白の点灯	SoundTouch®ソースの音楽を再生中
オレンジの点灯	 インターネットラジオ局またはライブラリが見つかりません 無効なアカウントです 一般的なエラーです インターネットラジオ局またはサービスを利用できません
オレンジの2回点滅	 プリセットが空です この先へはスキップできません
緑の点灯	SoundTouch®がソースとして現在選択されており、ダイアログ モードが有効です
緑の2回点滅	SoundTouch®がソースとして現在選択されており、ダイアログ モードが固定されています

Bluetoothインジケーター

ペアリングしたBluetooth対応モバイル機器の接続状態を示します。

インジケーターの表示	システムの状態
青の点滅	ペアリングができます
白の点滅	接続中
白の2回点滅	ペアリングリスト消去
白の点灯	接続済み
緑の点灯	接続済み、ダイアログモード有効
緑の2回点滅	接続済み、ダイアログモード固定

接続インジケーター

Acoustimass[®] 300 wireless bass module、Acoustimass wireless bass module (SoundTouch[®] soundbar system に付属)、または Virtually Invisible[®] 300 wireless surround speakers とサウンドバーの接続状態を示します。

インジケーターの表示	システムの状態
白の点滅	接続中
白の点灯	ベースモジュール、サラウンドスピーカー、またはその両方に 接続されています
オレンジの点灯	ベースモジュール、サラウンドスピーカー、またはその両方と の接続が解除されています
オレンジの点滅	両方のサラウンドスピーカーが同じチャンネル(L (左)またはR (右))に設定されています
Wi-Fiインジケーター 🎓	システムソフトウェアの更新
と同時に白く点滅	注:更新には10分以上かかる場合があります。

Wi-Fi インジケーターおよび接続インジケーター

システムソフトウェアの更新状態を示します。

インジケーターの表示	システムの状態	
白の点滅	システムソフトウェアの更新	
	注:更新には10分以上かかる場合があります。	

システムソフトウェアの更新

サウンドバーのソフトウェアの更新が利用可能になると、SoundTouch®アプリにメッ セージが表示されます。アプリまたはリモコンを使用して、システムソフトウェア を更新できます。

- 1. リモコンのSoundTouch®ボタン 🗊 を押します。
- 2. サウンドバーのWi-Fiインジケーター
 マ、TVインジケーター □、SoundTouch®
 インジケーター マ、Bluetoothインジケーター オが白に点滅するまで、字幕表示
 ボタン CC を長押しします。



更新が完了すると、サウンドバーが再起動します。 注:更新には10分以上かかる場合があります。

Wi-Fi機能を無効にする

- 1. リモコンのSoundTouch®ボタン 🖗 を押します。
- 2. サウンドバーのWi-Fiインジケーター ⁽◆、TVインジケーター ^(□)、SoundTouch[®] インジケーター ⁽▼、*Bluetooth*インジケーター ⁽★)が白に点滅するまで、**0** ボタン を長押しします。



Wi-Fi機能が無効になると、サウンドバーのインジケーター 🗊 が消灯します。

Wi-Fi機能を再度有効にする

- 1. リモコンのSoundTouch®ボタン 🖗 を押します。

サウンドバーをリセットする

工場出荷時の設定にリセットすると、ソース、音量、ネットワーク、ADAPTiQ[®]自動 音場補正などのすべての設定がサウンドバーから消去され、工場出荷状態となります。

- 1. リモコンのSoundTouch®ボタン 🖗 を押します。
- サウンドバーのWi-Fiインジケーター 令、TVインジケーター □、SoundTouch® インジケーター マ、Bluetoothインジケーター ≯が白に点滅するまで、文字多重 放送ボタン ■を10秒間長押しします。



リセットが完了するとサウンドバーが再起動し、サウンドバーのインジケーター うがオレンジに点灯します(セットアップモード)。

- サウンドバーのネットワーク設定とオーディオ設定を元に戻すには、以下の手順 に従います。
 - スマートフォンまたはタブレットでSoundTouch®アプリを起動し、システムを ネットワークに追加します(27ページを参照)。
 - ・ ADAPTiQ 自動音場補正を実行します(22ページを参照)。

別のセットアップ方法

以下の問題を解決するには、別のセットアップ方法をお試しください。

症状	対処方法
テレビのHDMI™入力端子が空いて	「外部機器をサウンドバーに接続する」(45ページ)
いない	の説明に従ってください。
テレビに接続した機器の音が聞こ	「サウンドバーに接続した機器の音声を直接再生する」
えない、または音質が悪い	(46ページ)の説明に従ってください。
スマートフォンやタブレットで SoundTouch®アプリをセットアップ できない	「パソコンを使用してサウンドバーをセットアップす る」(47ページ)の説明に従ってください。

外部機器をサウンドバーに接続する

一部のテレビでは、HDMI入力が不足して一部の外部機器を接続できない場合があり ます。

テレビのHDMI ARC端子にサウンドバーを接続している場合は、サウンドバーの HDMI IN端子に外部機器を接続することで、この問題を解消できます(HDMIケーブル は別途ご購入ください)。

- 注:サウンドバーに外部機器を接続する前に、テレビのHDMI ARC端子にサウンド バーを接続していることを確認します。サウンドバーがテレビの光デジタル端 子のみに接続されている場合は、外部機器の映像をテレビで再生できません。
- 1. HDMIケーブルを外部機器のHDMI (OUT)端子に接続します。
- 2. HDMIケーブルのもう一方を、サウンドバーの背面にあるHDMI IN端子に接続します。



 ユニバーサルリモコンで接続機器を操作できるように設定します(25ページを 参照)。 4. リモコンで接続機器を選択します(31ページを参照)。

注: サウンドバーが接続されているテレビ入力を選択する必要があります。

サウンドバーに接続した機器の音声を直接再生する

ー部のテレビでは、接続した機器の音声がサウンドバーに送られない場合がありま す。また一部のテレビでは、サウンドバーに送られる前に、接続した機器のサラウ ンド音声の音質が低下する場合があります。

このような場合、テレビに接続した機器の音が聞こえない、または音質が悪いなどの問題が発生する原因となります。

これらの問題を解決するには、外部機器を直接サウンドバーのHDMI IN端子に接続 し、SoundTouch®アプリで適切な設定を選択して、機器からサラウンド音声を直接 再生できます。

1. 外部機器をサウンドバーに接続します(45ページを参照)。

 SoundTouch®アプリで適切なシステム設定を選択して、接続機器からサラウンド 音声を直接再生します。詳細については、弊社Webサイトを参照してください: global.Bose.com/Support/ST300

パソコンを使用してサウンドバーをセットアップする

スマートフォンやタブレットではなく、パソコンからサウンドバーをセットアップ することもできます。

作業を始める前に

- サウンドバーをパソコンの近くに移動します。
- ・パソコンがWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。
- Micro USBケーブル(別売)を用意します。

注:

- 一般にMicro USBケーブルはモバイル機器の充電に使用されています。ケーブル はお近くの家電量販店などでもお求めになれます。
- サウンドバー背面のUSB端子はパソコンによるセットアップ専用です。USB端 子はスマートフォンやタブレットなどの充電、またはサウンドバーの電源とし ては使用できません。

パソコンによるセットアップ

セットアップの最中に、USBケーブルで一時的にパソコンとサウンドバーを接続す るよう、アプリに指示が表示されます。アプリで指示が表示されるまで、USBケー ブルを接続しないでください。

- 1. 電源コードを壁のコンセントに差し込みます。
- 2. パソコンでWebブラウザーを開いて、次のURLにアクセスします:

global.Bose.com/Support/ST300

ヒント: 音楽ライブラリが保存されているパソコンを使用してください。

3. SoundTouch®アプリをダウンロードして実行します。

セットアップの手順はアプリに表示されます。

セットアップが完了したら、パソコンとサウンドバーからUSBケーブルを取り外します。サウンドバーを使用する場所に置きます。

お手入れについて

システムの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないよう **り**にしてください。

- システムの外装は付属のクリーニングクロスや柔らかい布でから拭きしてください。
- システムの近くでスプレーを使用しないでください。
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニン グ液は使用しないでください。
- ・ 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

お問い合わせ先

本製品に関するご不明点は以下までお願いいたします。

- ・弊社Webサイト: global.Bose.com/Support/ST300
- Bose カスタマーサービス

保証

製品保証の詳細は弊社Webサイトをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品 を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

仕様

入力電源定格: 100 ~ 240V ~ 50/60 Hz、65W

サウンドバーに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- サウンドバーおよびオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカー を電源に接続します。
- すべてのケーブルをしっかりと接続します。
- ・システムのステータスインジケーターの状態を確認します(39ページを参照)。
- サウンドバーおよびオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカー を干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から離します。
- サウンドバーが正しく動作するように、無線ルーターやモバイル機器の推奨通信 範囲内へ移動します。
- ・設置ガイドに沿ってサウンドバーを設置します(12ページを参照)。

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確 認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお 問い合わせください。

故障かな?と思ったら

症状	対処方法
テレビにHDMI™ ARC端子や光デ ジタル音声端子 がない	 ¶I™・ 同軸デジタルケーブル、3.5 mmステレオ音声ケーブル、アナログ - ス テレオケーブルなどを使用して、オーディオコンバーターを介してテレビを接続します(別途ご購入ください)。必要なコンバーターとケーブルの種類は、お持ちのテレビで使用できる音声出力端子の種類によって異なります。
電源が入らない	 ハ・サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドス ピーカーの電源コードを抜き、15秒間待ってから、通電している電源 コンセントにしっかりと差し込みます。 ・リモコンを使用してサウンドバーの電源をオンにします(18ページ を参照)。
リモコンが正し く機能しないこ とがある、また はまったく機能 しない	 ・ サウンドバーとの間に障害物がないことを確認し、サウンドバーの方向にリモコンを向けて操作します。 ・ 電池ケースに表示されている+とーの向きと、乾電池の+とーの向きを正しく合わせてください(17ページを参照)。 ・ 電池を交換します(17ページを参照)。 ・ 間池を交換します(17ページを参照)。 ・ リモコンの音量ボタンを押して、正しい接続機器ボタンが点滅するかどうか確認します。 ・ リモコンで接続機器を操作できるように設定している場合: - リモコンを操作する接続機器に向けます。 - 機器のメーカーの設定コードを正しく入力したことを確認します。 - リモコンに別のコードを入力してプログラムします(25ページを参照)。

次の表には、一般的な問題の症状と、考えられる対処方法が記載されています。

症状	対処方法
Acoustimass [®] 300 wireless bass module、 Acoustimass wireless bass module (SoundTouch [®] soundbar system に付属)、ま たは Virtually Invisible [®] 300 wireless surround speakers とサウ ンドバーをペア リングできない	 サウンドバーとベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、15秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。 ペアリングの手順を繰り返します(19ページを参照)。 Acoustimass wireless bass module (SoundTouch® soundbar systemに付属)およびベースモジュールとサウンドバーを以前にペアリングしていた場合は、ベースモジュールとサウンドバーの接続をリセットします。Acoustimass wireless bass moduleの取扱説明書をご覧ください。弊社Webサイトをご参照ください。global.Bose.com/Support/SSS 3.5 mmステレオ音声ケーブルを使用して、ベースモジュールとサウンドバーを接続します(Acoustimass® 300またはAcoustimass wireless bass moduleの取扱説明書をご覧ください)。3.5 mmステレオ音声ケーブルはヘッドホンやモバイル機器の接続に使用されるものです。お持ちでない場合の入手方法については、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。ケーブルはお近くの家電量販店などでもお求めになれます。
サウンドバーの 音が途切れる、 聞こえない	 サウンドバーのミュートを解除します。 音量を上げます。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドス ピーカーの電源コードを抜き、15秒間待ってから、通電している電源 コンセントにしっかりと差し込みます。 サウンドバーのHDMI™ケーブルがテレビのARCまたはAudio Return Channelと表示されている端子に接続されていることを確認します。 テレビにHDMI ARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用し てサウンドバーに接続します(16ページを参照)。 サウンドバーがテレビのHDMI ARC端子に接続されている場合は、テ レビのシステムメニューでConsumer Electronics Control (CEC)機能が 有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別 の名称で呼ばれていることがあります。詳細については、テレビの取 扱説明書をご覧ください。 サウンドバーのHDMIケーブルをテレビのHDMI ARC端子から取り外し て、再度接続します。 テレビの内蔵スピーカーをオフにします(テレビの取扱説明書を参照)。 光デジタルケーブルをテレビの音声出力(OutputまたはOUT)端子に接続します。 テレビの入力を正しく選択します(31ページを参照)。 テレビが外部機器からの音声を出力でき、その設定が有効になって いることを確認します(テレビの取扱説明書を参照)。 外部機器をサウンドバーに接続し、SoundTouch®アプリで適切な設 定を選択して外部機器からサラウンド音声を直接再生します(46 ページを参照)。

症状	対処方法
Acoustimass [®]	• 以下の手順でシステムソフトウェアを更新します。
300 bass module	1. リモコンのSoundTouch®ボタン 🖗 を押します。
または Virtually	2. サウンドバーのWi-Fiインジケーター 🗊、TVインジケーター 🗔、
surround	SoundTouch®インジケーター ⁽)、 <i>Bluetooth</i> インジケーター [∦] が白
speakersから音	に点滅するまで、字幕表示ボタン CC を長押しします。
が聞こえない	注: 更新には10分以上かかる場合があります。
テレビから音が 出る	 サウンドバーのHDMIケーブルがテレビのARCまたはAudio Return Channelと表示されている端子に接続されていることを確認します。 テレビにHDMI ARC端子がない場合は、光ケーブルを使用してサウン ドバーに接続します(16ページを参照)。 テレビの内蔵スピーカーをオフにします(テレビの取扱説明書を参照)。 サウンドバーがテレビのHDMI ARC端子に接続されている場合は、テ レビのシステムメニューでConsumer Electronics Control (CEC)機能が 有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別 の名称で呼ばれていることがあります。詳細については、テレビの取 扱説明書をご覧ください。 サウンドバーのHDMIケーブルをテレビのHDMI ARC端子から取り外し て、再度接続します。 レビの音量を最小に設定します。
	● HDMIケーブル(I5ペーンを参照)と光ケーブル(I6ページを参照) を両方使用してサウンドバーに接続します。
音質が良くない、 音が歪む	 別の接続機器で試してみます。 ベースモジュールやサラウンドスピーカーから保護フィルムをすべて
	 ADAPTiQ®自動音場補正を実行します(22ページを参照)。 テレビがサラウンドサウンド出力に対応していることを確認します(テレビの取扱説明書をご覧ください)。対応していない場合は、外部機器をサウンドバーに接続し、SoundTouch®アプリで適切な設定を選択して外部機器からサラウンド音声を直接再生します(46ページを参照)。
低音が強すぎる/ 弱すぎる	 サウンドバーの低音を調整します(32ページを参照)。 ADAPTiQ®自動音場補正を実行します(22ページを参照)。
テレビのHDMI™ 入力端子が空い ていない	 サウンドバーがテレビのHDMI ARC端子に接続されている場合は、外部機器をサウンドバーに接続します(45ページを参照)。
サウンドバーで むらの音がまた ならない、 なしばらくして から正しくない 接続器 に切り 替わる	 CEC機能を「Alternate On (個別指定)」に設定します。 SoundTouch®アプリで、 > [設定] > [スピーカーの設定]の順に 選択します。
	2. サウンドバーを選択します。
	3. [詳細設定] > [HDMI-CEC] > [Alternate On (個別指定)]の順に選択し
	ます。 ・ 接続機器のCEC機能を無効にします(詳細については、機器の取扱説 明書をご覧ください)
	・HDMIケーブル(15ページを参照)と光ケーブル(16ページを参照) を両方使用してサウンドバーに接続します。

症状	対処方法
サウンドバーの HDMI IN端子に接 続した機器の映 像が映らない	 サウンドバーが接続されているテレビ入力を選択します(31ページを参照)。 サウンドバーのHDMIケーブルがテレビのARCまたはAudio Return Channelと表示されている端子に接続されていることを確認します。 サウンドバーとテレビを光ケーブルで接続している場合は、外部機器をサウンドバーのHDMI IN端子に接続しないでください。
	 サウンドバーと外部機器の電源コードを抜き、15秒間待ってから、通 電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
ネットワーク設定 を完了できない	 正しいネットワーク名を選択して、パスワードを入力します(大文字 と小文字を区別して入力してください)。 モバイル機器とサウンドバーを同じWi-Fiネットワークに接続します。 セットアップに使用する機器(モバイル機器やパソコン)のWi-Fi機能 を有効にします。 開いている他のアプリケーションを終了します。 セットアップにパソコンを使用している場合は、ファイアウォールの 設定をチェックして、SoundTouch®アプリとSoundTouch®ミュージッ クサーバーが許可されるプログラムであることを確認します。 モバイル機器またはパソコンとルーターを再起動します。 ルーターが2.4GHz帯と5GHz帯の両方に対応している場合は、機器(モ バイル機器やパソコン)とサウンドバーが同じ周波数帯を使用して接 続していることを確認します。 アプリをアンインストールし、サウンドバーを出荷時の設定に戻して から、セットアップをやり直します(44ページを参照)。
ネットワークに 接続できない	 ネットワークの設定情報を変更した場合や、システムを別のネット ワークに接続する場合は、28ページをご覧ください。 Ethernetケーブルを使用してネットワークに接続します。
サウンドバーと モバイル機器を ペアリングでき ない	 モバイル機器での操作: Bluetooth機能をオンにしてから、もう一度オフにします。 BluetoothリストからSoundTouch® 300 soundbarを削除します。ペアリングし直します(35ページを参照)。 モバイル機器をサウンドバーに近づけたり、他の干渉物や障害物から離してみてください。 別のモバイル機器で接続できるか試してみてください(35ページを参照)。 global.Bose.com/Support/ST300にアクセスして、解説ビデオを参照します。 サウンドバーのペアリングリストを消去します。サウンドバーのBluetoothインジケーター*が白く2回点滅するまで、リモコンの*ボタンを10秒間長押しします。モバイル機器のBluetoothリストからSoundTouch® 300 soundbarを削除します。
サウンドバーと NFC対応機器を ペアリングでき ない	 お使いの機器がNFCに対応していることを確認します。 モバイル機器のロックを解除して、Bluetooth機能とNFC機能をオンにします。 モバイル機器のNFCタッチポイントをサウンドバー天面のBose®ロゴの上の部分に当てます(36ページを参照)。

ADAPTiQ®自動音場補正のエラーメッセージ

音声ガイドから以下のエラーメッセージが聞こえる場合があります。

エラーメッセージ	トラブル	対処方法
1	ADAPTiQ [®] 用ヘッドセッ トのマイクで音声を検 出できません。	 すべてのケーブルをしっかりと接続します。 ADAPTiQ用ヘッドセットのケーブルを外して、サウンドバーのADAPTiQ端子にしっかりと接続し直します。 ADAPTiQ用ヘッドセットの上部にあるマイクの開口部が塞がれてないことを確認します。 ADAPTiQ用ヘッドセットが破損している可能性があります。Boseカスタマーサービスに連絡してヘッドセットを交換してください。
2	室内がうるさすぎます。	• 室内が静かになったら、ADAPTiQ自動 音場補正を再度実行します。
3	ADAPTiQ用ヘッドセッ トがスピーカーに近す ぎます。	 ADAPTiQ用ヘッドセットを装着したま まスピーカーから離れた場所に移動し ます。
4	測定するリスニングポ ジションが近すぎます。	 既に測定したリスニングポジションから 30~60 cm離れた場所まで移動します。
5	ADAPTiQ用ヘッドセッ トが動いたために測定 できません。	 測定中は、頭を動かさないようにして ください。

問題を解決した後で、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行する必要があります (22ページを参照)。

このほかのエラーメッセージが聞こえた場合は、Boseカスタマーサービスにご連絡 ください。





©2019 Bose Corporation 100 The Mountain Road Framingham, MA 01701-9168 USA AM773965 Rev. 10